

新規採用・削除医薬品等通知

新規採用医薬品通知

(薬品名)	インチュニブ錠 1mg/3mg	劇	市販直後調査 2017年5月～2017年11月																																				
(英名)	Intuniv																																						
(規格・含有量)	インチュニブ錠 1mg:グアンファシン塩酸塩 1.14mg(グアンファシンとして 1mg に相当) インチュニブ錠 3mg:グアンファシン塩酸塩 3.42mg(グアンファシンとして 3mg に相当)																																						
(一般名)	グアンファシン塩酸塩																																						
(メーカー名)	塩野義製薬株式会社																																						
【薬価収載日】	2017年5月																																						
【薬価】	1mg:412.20 円 3mg:544.30 円																																						
【薬効コード】	871179																																						
【薬効分類名】	注意欠陥／多動性障害治療剤																																						
効能・効果	小児期における注意欠陥／多動性障害(AD/HD)																																						
用法・用量	通常、体重50kg未満の小児ではグアンファシンとして1日1mg、体重50kg以上の小児ではグアンファシンとして1日2mgより投与を開始し、1週間以上の間隔をあけて1mgずつ、下表の維持用量まで増量する。なお、症状により適宜増減するが、下表の最高用量を超えないこととし、いずれも1日1回経口投与すること。																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>体重</th> <th>開始用量</th> <th>維持用量</th> <th>最高用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7kg以上25kg未満</td> <td>1mg</td> <td>1mg</td> <td>2mg</td> </tr> <tr> <td>25kg以上34kg未満</td> <td>1mg</td> <td>2mg</td> <td>3mg</td> </tr> <tr> <td>34kg以上38kg未満</td> <td>1mg</td> <td>2mg</td> <td>4mg</td> </tr> <tr> <td>38kg以上42kg未満</td> <td>1mg</td> <td>3mg</td> <td>4mg</td> </tr> <tr> <td>42kg以上50kg未満</td> <td>1mg</td> <td>3mg</td> <td>5mg</td> </tr> <tr> <td>50kg以上63kg未満</td> <td>2mg</td> <td>4mg</td> <td>6mg</td> </tr> <tr> <td>63kg以上75kg未満</td> <td>2mg</td> <td>5mg</td> <td>6mg</td> </tr> <tr> <td>75kg以上</td> <td>2mg</td> <td>6mg</td> <td>6mg</td> </tr> </tbody> </table>	体重	開始用量	維持用量	最高用量	7kg以上25kg未満	1mg	1mg	2mg	25kg以上34kg未満	1mg	2mg	3mg	34kg以上38kg未満	1mg	2mg	4mg	38kg以上42kg未満	1mg	3mg	4mg	42kg以上50kg未満	1mg	3mg	5mg	50kg以上63kg未満	2mg	4mg	6mg	63kg以上75kg未満	2mg	5mg	6mg	75kg以上	2mg	6mg	6mg		
体重	開始用量	維持用量	最高用量																																				
7kg以上25kg未満	1mg	1mg	2mg																																				
25kg以上34kg未満	1mg	2mg	3mg																																				
34kg以上38kg未満	1mg	2mg	4mg																																				
38kg以上42kg未満	1mg	3mg	4mg																																				
42kg以上50kg未満	1mg	3mg	5mg																																				
50kg以上63kg未満	2mg	4mg	6mg																																				
63kg以上75kg未満	2mg	5mg	6mg																																				
75kg以上	2mg	6mg	6mg																																				
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人 3. 房室ブロック(第二度, 第三度)のある患者[本剤の中枢性の徐脈作用により症状が悪化するおそれがある。]																																						
相互作用	本剤作用増強 CYP3A4/5 阻害剤(イトラコナゾール, リトナビル, クラリスロマイシン等) 本剤作用減弱 CYP3A4/5 誘導剤(リファンピシン, カルバマゼピン, フェノバルビタール, フェニトイン等) 本剤他剤作用増強 中枢神経抑制剤(鎮静剤, 催眠剤, 抗精神病薬, フェノチアジン誘導體, バルビツール酸誘導體, ベンゾジアゼピン誘導體等), アルコール																																						
副作用	重大な副作用 低血圧、徐脈、失神、房室ブロック その他 傾眠、頭痛、不眠、めまい、腹痛、倦怠感																																						

(薬品名)		スインプロイク錠 0.2mg	市販直後調査 2017年6月~2017年12月
(英名)	Symproic		
(規格・含有量)	1錠中、ナルデメジントシル酸塩 0.2604mg(ナルデメジンとして0.2mgに相当)		
(一般名)	ナルデメジントシル酸塩		
(メーカー名)	塩野義製薬株式会社		
【薬価収載日】	2017年5月		
【薬価】	272.10円		
【薬効コード】	872350		
【薬効分類名】	経口末梢性μオピオイド受容体拮抗薬		
効能・効果	オピオイド誘発性便秘症		
用法・用量	通常、成人にはナルデメジンとして1回0.2mgを1日1回経口投与する。		
禁忌	1. 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 2. 消化管閉塞若しくはその疑いのある患者、又は消化管閉塞の既往歴を有し再発のおそれの高い患者〔消化管穿孔を起こすおそれがある。〕		
相互作用	本剤作用増強 CYP3A 阻害剤(イトラコナゾール、フルコナゾール等)、P-糖蛋白阻害剤(シクロスポリン等) 本剤作用減弱 CYP3A 誘導剤(リファンピシン等)		
副作用	重大な副作用 重度の下痢 その他 下痢		

(薬品名)		パーサビブ静注透析用 5mg	劇 市販直後調査 2017年2月~2017年8月
(英名)	PARSABIV		
(規格・含有量)	1V中、エテルカルセチドとして5mg		
(一般名)	エテルカルセチド		
(メーカー名)	小野薬品工業株式会社		
【薬価収載日】	2017年2月		
【薬価】	1283円		
【薬効コード】	873999		
【薬効分類名】	カルシウム受容体作動薬		
効能・効果	血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症		
用法・用量	通常、成人には、エテルカルセチドとして1回5mgを開始用量とし、週3回、透析終了時の返血時に透析回路静脈側に注入する。以後は、患者の副甲状腺ホルモン(PTH)及び血清カルシウム濃度の十分な観察のもと、1回2.5~15mgの範囲内で適宜用量を調整し、週3回、透析終了時の返血時に投与する。		
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者		
相互作用	その他 デノスマブ、ビスホスホネート系薬剤(ミノドロン酸水和物、アレンドロン酸ナトリウム水和物、リセドロン酸ナトリウム水和物、イバンドロン酸ナトリウム水和物等) 選択的エストロゲン受容体モジュレーター(ラロキシフェン塩酸塩、バゼドキシフェン酢酸塩)、カルシトニン、副腎皮質ホルモン(プレドニゾン、デキサメタゾン等)		
副作用	重大な副作用 低カルシウム血症、血中カルシウム減少、心不全の増悪、QT延長 その他 5%以上の記載なし		

剤形変更通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
● <u>8月1日より</u> リリカ OD錠 25mg リリカ OD錠 75mg ホスレノール OD錠 250mg	リリカカプセル 25mg リリカカプセル 75mg ホスレノール顆粒分包 250mg

後発医薬品採用通知

今回採用医薬品（採用）	従来採用医薬品（削除）
● <u>8月1日より</u> レミフェンタニル静注用 2mg	アルチバ静注用 2mg

削除医薬品通知

クレミン錠 25mg	8/1 削除
ワゴスチグミン散 0.5%	8/1 削除
ヒルナミン筋注 25mg	8/1 削除

医薬品名称変更通知

変更後	変更前
● <u>8月1日より</u> アロプリノール錠 100mg「タナベ」	アロシトール錠 100mg

適応追加通知

ルボックス錠 25mg

【効能・効果】

(略)

【用法・用量】

○成人への投与

・うつ病・うつ状態, 強迫性障害, 社会不安障害

通常, 成人には, フルボキサミンマレイン酸塩として, 1日50mgを初期用量とし, 1日150mgまで増量し, 1日2回に分割して経口投与する。なお, 年齢・症状に応じて適宜増減する。

○小児への投与

・強迫性障害

通常, 8歳以上の小児には, フルボキサミンマレイン酸塩として, 1日1回25mgの就寝前経口投与から開始する。その後1週間以上の間隔をあけて1日50mgを1日2回朝及び就寝前に経口投与する。年齢・症状に応じて1日150mgを超えない範囲で適宜増減するが, 増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として25mgずつ行うこと。

オルダミン注射用 1g

【効能・効果】

食道静脈瘤出血の止血及び食道静脈瘤の硬化退縮

胃静脈瘤の退縮

【用法・用量】

1. (略)

2. 胃静脈瘤の退縮

バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術に用いる。用時, 1バイアルあたり10mLの血管造影用X線造影剤を加えて5%溶液に調製する。通常, 成人には5%モノエタノールアミノレイン酸塩として, 1治療あたり0.4mL/kg以内を胃静脈瘤内に注入する。なお, 1治療あたり5%モノエタノールアミノレイン酸塩としての総注入量は30mL以内とする。

スミフェロン注 DS300万IU/600万IU

【効能・効果】

[スミフェロン注バイアル300万IU・注DS300万IUの場合]

○ 腎癌、多発性骨髄腫、ヘアリー細胞白血病

○ 慢性骨髄性白血病

○ HBe抗原陽性でかつDNAポリメラーゼ陽性のB型慢性活動性肝炎のウイルス血症の改善

○ C型慢性肝炎におけるウイルス血症の改善(血中HCVRNA量が高い場合を除く)

○ C型代償性肝硬変におけるウイルス血症の改善(セログループ1の血中HCV RNA量が高い場合を除く)

○ 亜急性硬化性全脳炎におけるイノシンプラノベクスとの併用による臨床症状の進展抑制

○ HTLV-I 脊髄症(HAM)

[スミフェロン注DS600万IUの場合]

(略)

【用法・用量】

(略)

○ 亜急性硬化性全脳炎におけるイノシンプラノベクスとの併用による臨床症状の進展抑制

イノシンプラノベクスと併用し、通常、1日1回100万～300万単位を週1～3回髄腔内(脳室内を含む)に投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。

[スミフェロン注バイアル300万IU・注DS300万IU]

プラリア皮下注 60mg シリンジ

【効能・効果】

1. 骨粗鬆症
2. 関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制

【用法・用量】

1. 骨粗鬆症

(略)

2. 関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制

通常、成人にはデノスマブ(遺伝子組換え)として60mgを6カ月に1回、皮下投与する。なお、6カ月に1回の投与においても、骨びらの進行が認められる場合には、3カ月に1回、皮下投与することができる